

## 用語集

### アウトカム指標

施策・事業を実施することによって発生した効果・成果（アウトカム）を表す指標。

### アウトプット指標

事業を実施することによって直接発生した成果物・活動量（アウトプット）を表す指標。

### 移動権

誰でも交通機関を使って自由に移動できる権利。フランスでは 1982 年に「国内交通基本法」が制定され、「すべての利用者の移動する権利、交通手段を選択する自由」として交通権が明記されている。

### 運輸政策審議会

総合的輸送体系の樹立のための基本的な政策及び計画の策定などを調査・審議するため、旧運輸省内に設置された審議会。平成 13 年からは国土交通省内に新設した交通政策審議会にその役割を委譲した。

### 駅勢圏

交通計画において、ある鉄道駅を利用する人の多くが居住しているものと想定した範囲を指す。明確な基準は無いが、徒歩などにより 10 分程度で駅に到達できる、およそ鉄道駅を中心とした半径 800～1000m の範囲をいう場合が多い。

### 駅密度

可住地面積あたりの鉄軌道駅数（JR、私鉄、地下鉄、新交通システムなど）。

### ガイドウェイバス

鉄道とバスの利点を組み合わせたシステムで、道路の中央分離帯上に設けた専用的高架を、車両の前後輪に取り付けた案内装置の誘導で走り、さらに同一車両で連続して走行できる特性（デュアルモード）を備えている。

交通渋滞区間では、高架専用軌道を走行し、定時・高速運行が可能となり、一般道路では路線バスとして各方面へ運行できる。

### カーフリーデー

市街地にクルマを乗り入れないようにして生まれる都市環境の変化を、市民たちに体験してもらうことで地球環境問題、都市交通問題の改善を考えるために開かれる社会啓蒙イベント。1998 年フランスのラ・ロッシュェルで社会実験「車のない日」として生まれ、ヨーロッパを中心に 1000 都市以上が参加する世界的なイベントである。

### 幹線、補助幹線、区画道路

平面道路網は、幹線道路、補助幹線道路、区画道路、その他（歩行者専用道路、自転車専用道路等）に分けられる。幹線道路は、全国的、地域的あるいは都市内において、骨格的な道路網を形成する道路。補助幹線道路は、幹線道路と区画道路とを連絡し、これらの道路の交通を集散させる機能を持つ道路。区画道路は、沿道宅地のための交通、供給処理施設の収容、日照、通風等のための道路。

### グローバル化

資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や、海外への投資が増大することによって世界における経済的な結びつきが深まること。

### ゲリラ豪雨

予測が困難な、突発的で局地的な豪雨。

**交通基本法**

移動に関する権利を明確にし、交通についての基本理念を定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の交通についての基本理念に係る責務を明らかにするとともに、交通に関する施策の基本となる事項を定めるもの。公共交通を維持・再生し、人々の移動を確保するとともに、人口減少、少子・高齢化の進展、地球温暖化対策等の諸課題にも対応する。2011年通常国会へ提出するため、現在検討を行っている。

**交通結節点**

異なる交通手段等を相互に連絡する乗り換え・乗継施設のこと。具体的には、鉄道駅、バスターミナル、駅前広場などが挙げられる。

**交通需要マネジメント**

整備した交通施設の利用方法を工夫し、交通需要を適切に誘導することによって、交通を円滑に処理する手法。自動車の利用を公共交通へ転換させたり、自動車を共同で利用することによって自動車台数を減らすことが主な内容となる。別名 TDM (Transportation Demand Management)。

**職住近接型**

職場と住居が近い環境のことであり、ゆとりある生活を実現し、長時間通勤の問題や通勤混雑などの緩和が期待される。

**代表交通手段**

1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合、そのトリップの中で利用した主な交通手段を代表交通手段という。代表交通手段の集計上の優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪(自転車、原付・自動二輪車)→徒歩の順となる。

**地域公共交通活性化・再生総合事業**

地域公共交通の活性化・再生のため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を活用し、地域の多様なニーズに応えるために鉄道、コミュニティバス・乗合タクシー、旅客船等の多様な事業に取り組む地域の協議会に対し、パッケージで一括支援する制度であり、地域の創意工夫ある自主的な取組を促進するもの。

**地域公共交通計画 (LTP=Local Transport Plan)**

地域が目指す将来の姿を実現するために公共交通が分担すべき領域とその方法を明らかにした計画。

**地域巡回バス**

区役所、支所、病院、大規模商業施設、商店街、地下鉄駅など、地域の日常生活に密着した施設を巡回する路線。名古屋市内全区で運行している。

**駐車監視員**

警察署長の委託を受けた法人の下で、地域を巡回し、放置駐車車両の確認や確認標章の取付けなどの仕事を行う人のことで、法律上の資格が必要とされている。反則告知をしたり、金銭を徴収したりすることはない。

**低炭素化**

地球温暖化問題を解決するため、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出を抑えること。

**道路率**

土地全体(行政区域面積)に占める道路の面積の割合。

**都市計画道路**

都市計画法に基づき都市計画決定を行った道路。自動車専用道路、幹線街路、区画街路、特殊街路の4つに分かれる。

**都心ループバス**

中心市街地である名古屋から栄の買い物客などの需要に対応する路線として、名古屋駅～ランの館～名古屋駅を運行している。

**土地区画整理事業**

一定の区域において、生活になくてはならない道路、公園などの整備改善を行うとともに、個々の宅地を整形で公道に面するようにするなどして、土地の利用増進を図る方法。

**名古屋大都市圏**

経済、社会、文化など、広範な分野で緊密な関係を持つなど、一体的な地域としてとらえられる広域的な圏域であり、名古屋市を中心に、愛知・岐阜・三重県下にまたがるおおよそ半径40～50kmの範囲。

**パーソントリップ調査**

「どのような人が」「いつ」「どこから」「どのような交通手段で」動いたかについて調査し、1日のすべての動きを捉えるもの。中京都市圏では、これまで、1971（昭和46）年、1981（昭和56）年、1991（平成3）年、2001（平成13）年の4回行っている。

**福祉有償輸送**

タクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、NPO法人等が、実費・非営利の範囲内で、自家用自動車を使用して、身体障害者、要介護者にドア・ツー・ドアの個別輸送を行うサービス。

**未着手都市計画道路の整備方針**

平成17年度に名古屋市内全ての未着手都市計画道路について見直しを行い、計画の廃止・変更・現計画通りなど各未着手都市計画道路の今後の整備のあり方について、その基本的な方針を定めたもの。

**モビリティ**

一人ひとりの移動を意味するとともに、地域全体の交通流動を意味するものである。すなわち、モビリティとはあらゆる種類の「移動」を意味するものである。

**ICカード**

磁気カードと比較して、記憶できる情報量が多く、セキュリティに優れるというメリットがある。さらに非接触型のICカードは、装置に差し込む必要がなく、近づけるだけで情報のやり取りが可能である。そのため、利用者にとって便利であり、機械的な接触部分がなく故障が少ない、メンテナンスが容易であるという長所がある。

名古屋市では、市バス・地下鉄だけでなく、あおなみ線、ゆとりーとライン、名鉄線、名鉄バス及び豊橋鉄道でも利用でき、乗車券機能と電子マネー機能を合わせ持つICカード「mana」を平成23年2月導入する。

**NPO**

Non-Profit Organization の略。営利を主目的とせずに様々な活動を自主的・自発的に行う民間の団体・組織。

